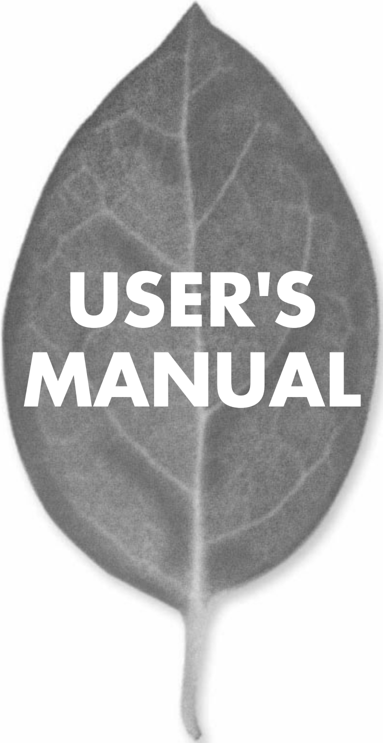


# USER'S MANUAL

11Mbps 無線LAN PCカード

# GW-NS11H

PLANEX COMMUNICATIONS INC.

# USER'S MANUAL

11Mbps 無線LAN PCカード

## GW-NS11H

# 本製品を安全にお使いいただくために

## ⚠警告

本製品をご利用の際は、以下の注意点を必ずお守りください。これらの事項が守られない場合、感電、火災、故障などにより使用者の重傷または死亡につながるおそれがあります。

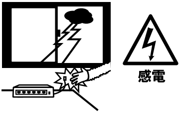
### 分解・改造・修理はダメ！

各部のネジを外したり、カバーを開けたりしないでください。また製品内部の部品を改造・交換しないでください。感電や火災につながるおそれがあります。



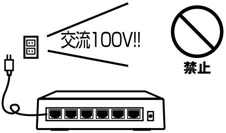

### 雷のときはさわらないで！

雷が発生している間は、製品各部およびケーブルにさわらないでください。感電するおそれがあります。



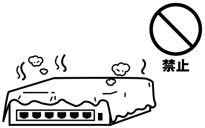

### 正しい電圧で使用して！

指定の電圧以外で使用すると誤動作や火災につながるおそれがあります。



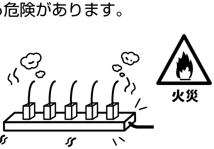

### 通気口をふさがないで！

内部に熱がこもり、誤動作や火災につながるおそれがあります。




### タコ足配線・無理な配線はダメ！

コンセントや電源タップの定格を超えて電気製品を接続すると、発熱し火災につながる危険があります。

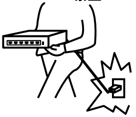



### 電源コードをつけて移動しないで！

本製品を設置・移動する際は、必ず電源コードを前もって抜いておいてください。

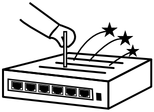



電源コードを入れたまま移動し、コードが傷つくと誤動作や火災につながるおそれがあります。



## 液体・異物は入れないで！

製品内部に液体や異物が入ると、ショートして火災が発生したり、
誤動作したりする可能性があります。
万一異物や液体が入ってしまった場合は、
電源コードをコンセントから外して
弊社サポートセンターまでご連絡ください。



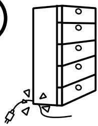



## 電源コードは傷つけないで！

火災・感電につながるおそれがありますので、電源やACアダプタのコードは絶対に加工したり傷つけたりしないでください。また以下の点を守ってコードを傷めないようにしてください。

◇コードの上に物を載せない
◇熱源の側にコードを置かない
◇コードをかじる癖のあるペットは隔離する
（かじった部分からショートし発火する危険があります）



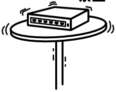



## 設置・保管場所をもう一度確認して！

以下の場所での本製品のご利用や保管は避けてください。これらの場所で設置・保管を行うと誤動作や感電、火災につながる危険があります。

・本製品が落下する可能性のある不安定な場所
・直射日光のあたる場所
・高温または多湿の場所（暖房器具の側も含む）
・急激に温度変化する可能性のある場所（結露のおそれがある所）
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所
・静電気を帯びやすい場所（絨毯の上も含む）
・腐食性のガスが発生する場所



## ◎おねがい

本製品のお手入れ

・本製品のお手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。
・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布を浸し、かたく絞って本製品を拭いてください。また最後に乾いた布で軽く拭いてください。
・台所用中性洗剤以外は使わないでください。シンナーやベンジン、ワックス、アルコールが入ったものは使用できません。

# 使用前にお読みください

**本製品は電波法で定められた小電力データ通信システムの無線局の無線設備として技術基準適合証明を取得済みの製品です。そのため、日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません。**

**◎法律により次の行為は禁止されています。**
**・改造および分解（アンテナ部分を含む）**
**・適合証明ラベルの剥離**

**1.本製品で使用する1～13チャンネルの周波数帯は、医療機器、電子レンジ等の産業・科学機器のほか工場の生産ライン等で使用される移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と重複しているため、電波の干渉による障害が発生する可能性があります。本製品の使用を開始する前に必ず本製品の干渉距離内に移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認の上使用を開始してください。本製品は、工場出荷設定で移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局と干渉しない14チャンネルに設定されています。**

**●使用周波数帯域・・・・・・・・・・2.4GH z**
**●変調方式・・・・・・・・・・・・・・・DS-SS方式**
**●想定干渉距離 ・・・・・・・・・・・40m以下**
**●周波数変更の可否・・・・・・・2400～2497.5GHzまでの帯域を使用し移動体識別装置用の構内無線局および特定小電力無線局で使用される帯域を回避可能**

**2.万一本製品から移動体識別用の構内無線局にたいして電波の干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更するか本製品の使用を中止してください。**

**3.その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。**

# このマニュアルの構成

**本マニュアルは以下のような構成になっています。**

## ■必ずお読みください

### 第1章　はじめに

**本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。**

## ■ご使用方法

### 第2章　アダプタのインストール

**本製品のインストール前の準備及び手順の概略について説明します。**

### 第3章　Windows 98/98 SecondEditionへのドライバインストール

**本製品をWindows 98/98 SecondEditionで使用する設定方法について説明します。**

### 第4章　Windows Meへのドライバインストール

**本製品をWindows Meで使用する設定方法について説明します。**

### 第5章　Windows 2000へのドライバインストール

**本製品をWindows 2000で使用する設定方法について説明します。**

### 第6章　Windows XPへのドライバインストール

**本製品をWindows XPで使用する設定方法について説明します。**

### 第7章　設定ユーティリティのインストールと設定

**本製品の設定ユーティリティのインストールについて説明します。**

## ■付録

### 付録A　トラブルシューティング

**「トラブルかな？」と思われる場合の対応方法について説明します。**

### 付録B　仕様

**本製品の仕様について説明します。**

### 付録C　設置環境への注意

**設置環境への注意について説明します。**

**●マニュアル内の表記について**

**本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。**

**●記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。**

User’s Manual　Version 1.2　　No.PMN-02-06-YT-GW-NS11H

# 目次

第1章

# はじめに

## 1 概要

本製品はPCカード Type IIスロットをもつDOS/Vコンピュータ上で使用可能なワイヤレスLANアダプタです。本製品を使用することでケーブルの配線、工事等を行うこと無くネットワークの構築が可能になります。IEEE802.11およびIEEE802.11bに準拠し伝送速度は、11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsに対応しています。アクセスポイントを使用するインフラストラクチャモードや端末同士で通信出来るアドホックモードをサポートしローミング機能によりサービスセット間を移動してもアクセスポイントを再認識させること無く使用可能です。またESSIDやWEPなどの機能を使用することによりより堅牢なセキュリティを保つことが出来ます。

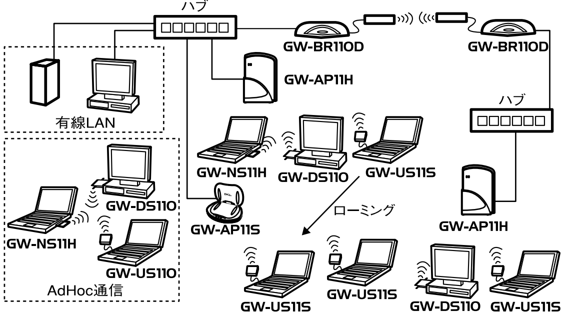



図1-1 ワイヤレスLAN構築図

## 2 特長

- ●IEEE802.11/802.11b 準拠
- ●PCMCIA 2.1/JEIDA4.2 TypeIIに準拠
- ●ARIB STD-33A/STD-T66準拠
- ●ノイズに強いDS-SS方式
- ●2.4GHz周波数帯を使用
- ●14チャンネルサポート
- ●11Mbps/5.5Mbps/2Mbps/1Mbpsを自動認識
- ●ESSIDおよびWEP機能により堅牢なセキュリティを実現
- ●11Mbps時50m 5.5/2/1Mbps時80mまでの通信が可能（屋内使用時、見通し距離）
- ●高感度ダイバシティアンテナ採用
- ●通信状況が簡単に確認出来る2つのLEDを装備
- ●異なるアクセスポイント間を移動可能なローミング機能に対応
- ●設定ユーティリティ付属

# 3 対応機種および対応OS

本製品の対応機種および対応OSは以下のようになっています。

## ◎PC/AT互換機

- Windows 98
- Windows 98 SecondEdition
- Windows Me
- Windows NT WorkStation 4.0
- Windows 2000 Professional
- Windows XP Home Edition/Professional Edition

## 4 梱包内容の確認

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

●GW-NS11H 11Mbps無線LAN PCカード
●ドライバ&ユーティリティCD-ROM　1枚
●このユーザーズマニュアル
●専用プラスチックケース

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

# 5 各部の名称

本製品本体にはコンピュータに接続するための68ピンコネクタとデータを受信するためのアンテナ部があります。

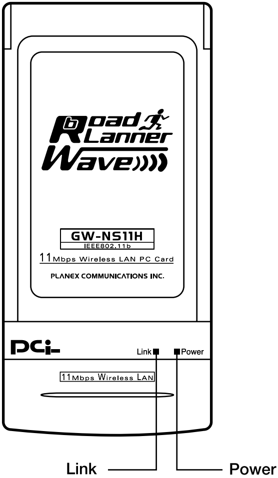



**図1-2　GW-NS11H**

本製品本体には、2つのLEDインディケータを備えています。

**＜Power＞**

本製品に電源が供給された場合に点灯します。電源が供給されていない時は消灯します。

**＜Link＞**

ワイヤレスネットワークが確立された場合に点灯します。確立されていない場合は点滅します。

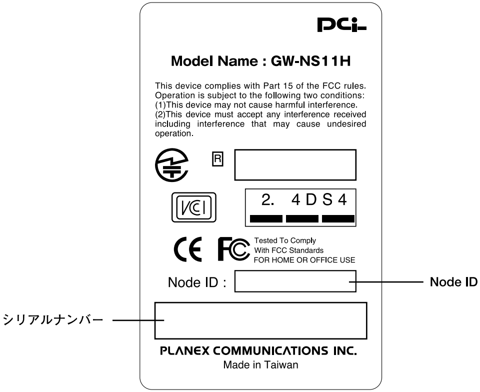



**図1-3　カード裏面図**

> **⚠ 注意**
>
> ***本製品使用時の注意事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。***

### ＜Node ID＞

**本製品に固有のNode ID（MACアドレス）が記載されています。**

### ＜シリアルナンバー＞

**本製品のシリアルナンバーです。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要になります。**

# アダプタのインストール



**本章では本製品のコンピュータへのインストール方法について説明します。本製品のインストールは以下の手順で行います。**

## 1 アダプタインストール

**1.** コンピュータの電源を切ります。

**2.** 本製品のラベル面を上にしてコンピュータの空いているPCカードスロットに挿入します。

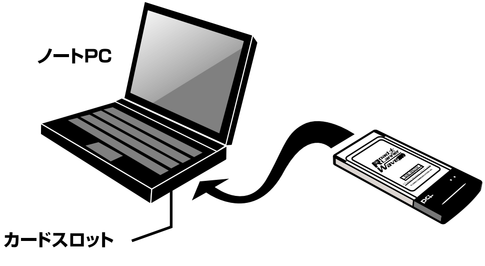



図2-1　PCカードスロットへの挿入

### ⚠ 注意

***通常は本製品のラベル面を上にしてコンピュータに挿入しますが、コンピュータの機種によってはラベル面が下になる場合もあります。コンピュータのマニュアルをご確認ください。***

# Windows 98/98 SecondEdition へのドライバインストール



ここでは、本製品をWindows 98/98SecondEditionで使用する場合のドライバのインストール方法について説明します。

## 1 ドライバのインストール

*1.* 本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットし、コンピュータの電源を入れます。

*2.* Windows 98起動時に本製品が自動的に認識され、「デバイスドライバウィザード」ウィンドウが表示されます。[次へ] をクリックします。



***3.*** **[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する] にチェックを入れ、[次へ] をクリックします。**




***4.*** **検索場所を指定するウィンドウが表示されるので、[CD-ROM ドライブ] だけをチェックし、他の項目からはチェックを外します。**




***5.*** **本製品付属のドライバCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、[次へ] をクリックします。ドライバファイルの検索が始まります。**

*6.* **ドライバ情報ファイルが検出されると、「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」と表示されます。「次へ」をクリックします。**

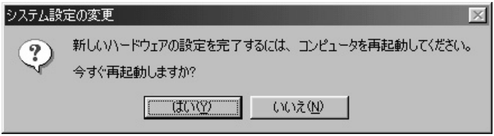



*7.* **ファイルのコピーがはじまります。コピー中にWindows98のファイルが要求された場合は、Windows98の CD-ROMをセットし、ディレクトリ名を入力してください。(例:CD-ROMドライブがDドライブの場合は d:\win98 と入力します。またWindows98プリインストールのコンピュータでは c:\windows\options\cabsと入力します。)**

**8.** **しばらくすると「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されます。ここで［完了］をクリックします。**




**9.** **コンピュータを再起動するよう画面で指示してきます。ドライバディスクをドライブから取り出し、［はい］をクリックしてコンピュータを再起動します。**



## 2 インストールの確認

**ドライバのインストールが終了したら、下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。**

**1.** **[マイコンピュータ]を開き、そこから[コントロールパネル]を開きます。**

**2.** **[システム] を開き、[システムのプロバティ] から [デバイスマネージャ] のタブを開きます。**

**3.** **[ネットワークアダプタ] の左の [+] をクリックして、「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから3-1 の手順で再度インストールします。**



**4.**「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」を選択して［プロパティ］をクリックします。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。



**5.** ［リソース］タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース（I/Oポート、IRQ）を確認することができます。



## 3 ネットワーク設定

ここでは、TCP/IPプロトコルを使用してネットワークに接続する場合の設定について説明します。本製品のシステムへのインストールが完了している事を確認してください。

1. [マイコンピュータ] 開き、そこから [コントロールパネル] を開きます。

2. [ネットワーク] を開きます。「ネットワークの設定」の「現在のネットワークコンポーネント」で、現在のネットワークの設定状況を表しています。左側のアイコンはそれぞれ以下の物を表しています。

 ：クライアント

 ：アダプタ

 ：プロトコル

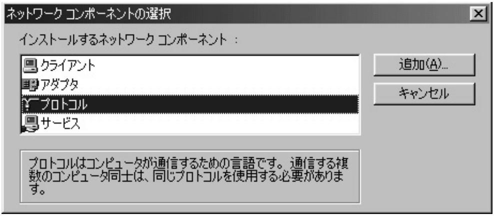
 ：サービス

アダプタが複数存在する場合、それぞれのプロトコルの設定がどのアダプタに対して有効になるのか見分けるため、右側にアダプタの名前が表示されます。これを「バインド先」と言います。アダプタが1つしかない場合はバインド先も1つしかないため右側には何も表示されません。




**「現在のネットワーク構成」の中に「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」「TCP/IP」が入っていない場合は、以下の手順でTCP/IPプロトコルを追加してください。すでに「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」「TCP/IP」が入っている場合は、5.に進んでください。**

**3.** **［追加］ボタンをクリックすると「ネットワーク構成ファイルの追加」ウィンドウが開きます。「プロトコル」をクリックして［追加］ボタンをクリックしてください。**



**4.** **「ネットワークプロトコルの選択」ウィンドウが開きます。「製造元」で「Microsoft」を選択して「ネットワークプロトコル」に表示される一覧から「TCP/IP」をクリックして［OK］ボタンをクリックしてください。**

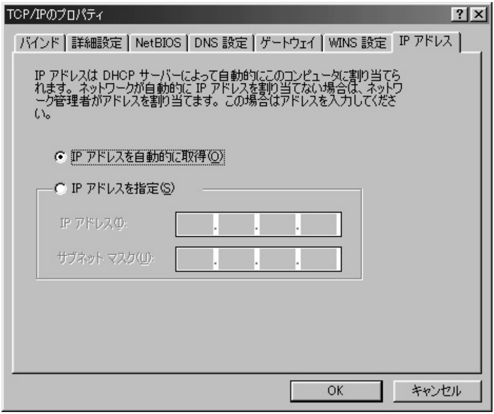



**ネットワークの構成にTCP/IPプロトコルが追加されます。「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」がインストールされていない場合は、同様の手順で「クライアント」と「サービス」から、必要なファイルをインストールしてください。**

**5.** **TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有の「IPアドレス」を設定する必要があります。**

**6.** **「TCP/IP ->PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックしてください。**

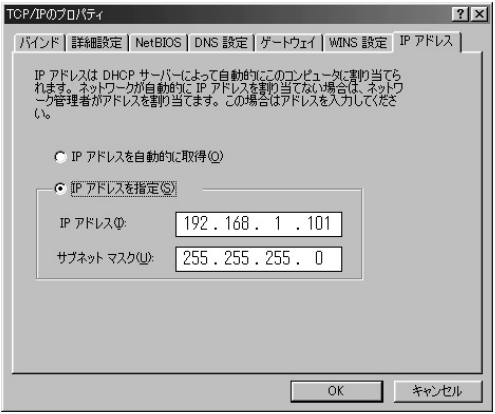
**7.** **「IPアドレス」タブを選択して、IPアドレスを設定します。初期設定値では「IPアドレスを自動的に取得」がチェックされています。「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力できるようにするには、「IPアドレスを指定」をチェックしてください。「IPアドレス」と「サブネットマスク」が入力できるようになります。**




## 注意

***ここからの設定はIPアドレスを固定設定します。すでにブロードバンドルーターやDHCPサーバーなどによるIPアドレスの自動割当を行っているネットワークでは「IPアドレスを自動的に取得」のままにしてください。***

**8.** ローカルネットワークで使用する場合、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここでは、ローカルネットワーク用のIPアドレス（Class C）として定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。この例では、IPアドレスを「192.168.1.101」に「サブネットマスク」を「255.255.255.0」に設定しています。




**9.** IPアドレスの設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし「TCP/IPのプロパティ」を閉じてください。

**⚠ 注意**

*IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合は、それぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.101」だとすると2台目を「192.168.1.102」3台目を「192.168.1.103」4台目を「192.168.1.104」の様に設定してください。またサブネットマスクはネットワーク上ですべて同一にする必要があります。ここではすべて「255.255.255.0」に設定してください。*

**10.** **「識別情報」タブをクリックすると以下のようなウィンドウが表示されます。以下の各項目を入力してください。**




**＜コンピュータ名＞**

**使用しているコンピュータに設定する名前を入力してください。ここで入力した名前が「ネットワークコンピュータ」上に表示されます。他のコンピュータと重複しないように設定してください。**

**＜ワークグループ＞**

**使用しているコンピュータが属するネットワーク名を入力します。ワークグループ名の設定が他のコンピュータと違うと、所属するネットワークが異なるために「ネットワークコンピュータ」を開いた際に他のコンピュータを表示することができなくなります。ネットワーク上のすべてのコンピュータで同じワークグループ名を設定してください。**

**＜コンピュータの説明＞**
**使用しているコンピュータに関する追加情報があれば記述します。特に記述しなくてもかまいません。**

***11.*** **［ネットワークの設定」タブをクリックします。「優先的にログオンする」をクリックして「Microsoftネットワーククライアント」を選択します。「Microsoftネットワーククライアント」を選択できない場合は、「現在のネットワーク構成」に「Microsoftネットワーククライアント」を追加してください。**



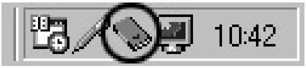
**12.** **すべての設定が終了したら「ネットワーク」のプロパティの［OK］ボタンをクリックします。コンピュータを再起動するか聞いてきますので「はい」をクリックしてコンピュータを再起動してください。WindowsのインストールCD-ROMを要求するウィンドウが表示される場合は、WindowsインストールCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。**

**再起動後パスワードを入力してデスクトップ上のネットワークコンピュータアイコンをダブルクリックするとネットワークで接続されている他のコンピュータにアクセスすることができる様になります。**

# 4 アダプタの取り外し

***1.*** **ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いている場合はすべて閉じます。また、ネットワークにアクセスしている場合は、アクセスが終了するまで待ちます。**

***2.*** **画面右下のタスクトレイに表示されている、PCカードアイコンをダブルクリックします。**




***3.*** **「PCカード（PCMCIA）のプロパティ」が開きます。「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」をクリックし、［停止］をクリックします。**



**4.「このデバイスは安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。**




**5. 本製品をコンピュータのPCカードスロットから取り外します。**

**⚠ 注意**

***上記以外の手順で取り外しを行うと、ネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。***

# 5 ドライバの削除方法

**ドライバの削除は以下の手順で行ってください。**

**1.「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」と開いて、「システム」をダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ] タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の [+] マークをクリックすると「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示されるのでこれを選択し [削除] ボタンをクリックしてください。**

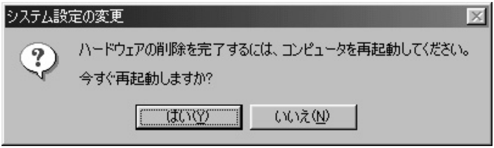



**表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在し、その左の [+] マークをクリックしたときに「PLANEX GW-NS11H Wireless_PC_Card」が表示される場合はこれを選択し [削除] ボタンをクリックしてください。**

**2.** **削除の確認のウィンドウが表示されるので［OK］ボタンをクリックしてください。**




**3.** **再起動の要求メッセージが出ますが、［いいえ］ボタンをクリックします。コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。**



# Windows Meへの ドライバインストール



ここでは、本製品をWindows Meで使用する場合の設定方法について説明します。

## 1 ドライバのインストール

**1.** 本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットし、コンピュータの電源を入れます。

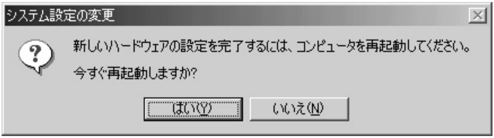
**2.** Windows Meの起動時に本製品が自動的に認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが開始します。付属のドライバCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。「適切なドライバを自動的に検索する。」にチェックマークを入れ、「次へ」をクリックします。



**3.** ドライバファイルの検索が開始され、ドライバが自動的にインストールされます。インストールが終了し、ウィザードの終了メッセージが表示されますので［完了］をクリックします。




**4.** 再起動の要求メッセージがでますので、「はい」をクリックして再起動します。




**5.** 再起動後、4-2の手順でデバイスマネージャーから本製品が正常に認識されている事を確認します。

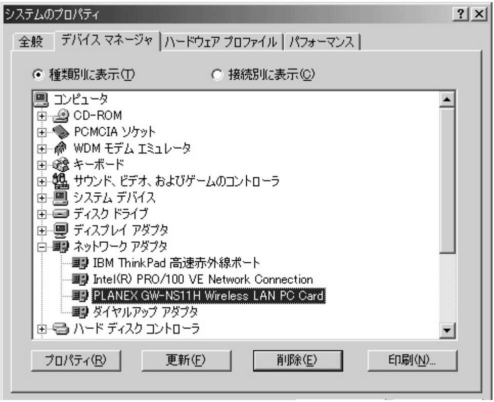
## 2 インストールの確認

**ドライバのインストールが終了したら、下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。**

**1.** **[マイコンピュータ]を開き、そこから[コントロールパネル]を開きます。**

**2.** **[システム] を開き、[システムのプロパティ] から [デバイスマネージャ] のタブを開きます。**

**3.** ［ネットワークアダプタ］の左の［+］をクリックして、「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから4-1 の手順で再度インストールします。



**4.「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」を選択して［プロパティ］をクリックします。プロパティ画面の「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。**



***5.*** **［リソース］タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース（I/Oポート、IRQ）を確認することができます。**



## 3 ネットワーク設定

**ここでは、TCP/IPそれぞれのプロトコルを使用してネットワークに接続する場合の設定について説明します。本製品のシステムへのインストールが完了している事を確認してください。**

**1.** [マイコンピュータ] 開き、そこから [コントロールパネル] を開きます。

**2.** [ネットワーク] を開きます。「ネットワークの設定」の「現在のネットワークコンポーネント」で、現在のネットワークの設定状況を表しています。左側のアイコンはそれぞれ以下の物を表しています。

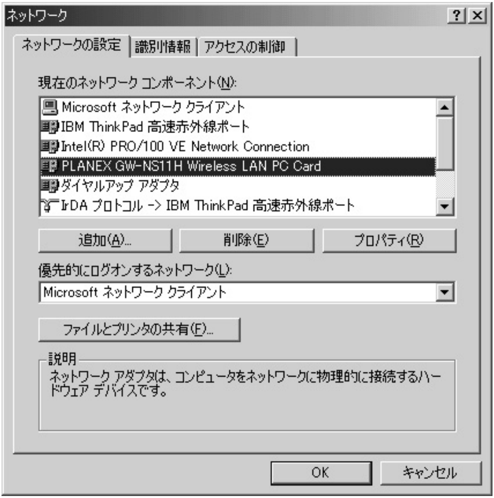
 ： クライアント

 ： アダプタ

 ： プロトコル

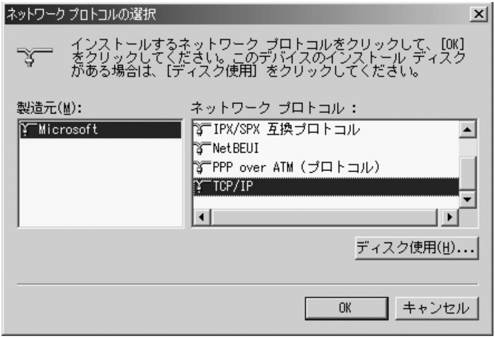
 ： サービス

アダプタが複数存在する場合、それぞれのプロトコルの設定がどのアダプタに対して有効になるのか見分けるため、右側にアダプタの名前が表示されます。これを「バインド先」と言います。アダプタが1つしかない場合はバインド先も1つしかないため右側には何も表示されません。

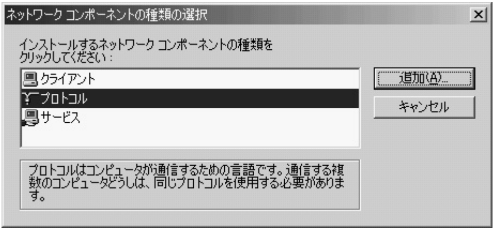



「現在のネットワーク構成」の中に「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」「TCP/IP」が入っていない場合は、以下の手順でTCP/IPプロトコルを追加してください。すでに「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」「TCP/IP」が入っている場合は、5.に進んでください。

**3.** **[追加] ボタンをクリックすると「ネットワーク構成ファイルの追加」ウィンドウが開きます。「プロトコル」をクリックして [追加] ボタンをクリックしてください。**



**4.** **「ネットワークプロトコルの選択」ウィンドウが開きます。「製造元」で「Microsoft」を選択して「ネットワークプロトコル」に表示される一覧から「TCP/IP」をクリックして［OK］ボタンをクリックしてください。**

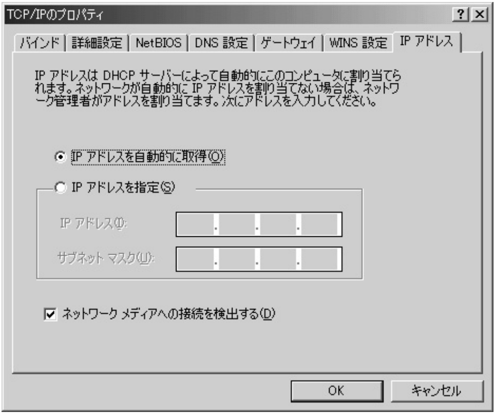



**ネットワークの構成にTCP/IPプロトコルが追加されます。「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」がインストールされていない場合は、同様の手順で「クライアント」と「サービス」から、必要なファイルをインストールしてください。**

**5.** **TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有の「IPアドレス」を設定する必要があります。**

**6.** 「TCP/IP -> PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックしてください。

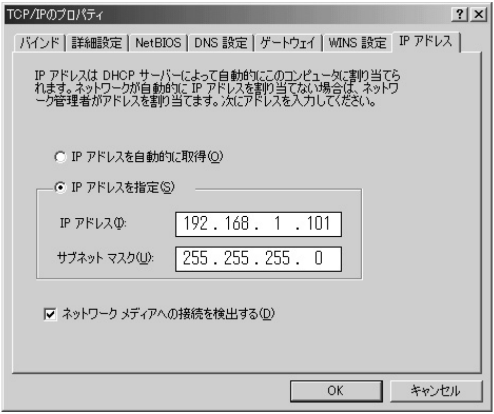
**7.** 「IPアドレス」タブを選択して、IPアドレスを設定します。初期設定値では「IPアドレスを自動的に取得」がチェックされています。「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力できるようにするには、「IPアドレスを指定」をチェックしてください。「IPアドレス」と「サブネットマスク」が入力できるようになります。




## 注意

***ここからの設定はIPアドレスを固定設定します。すでにブロードバンドルーターやDHCPサーバーなどによるIPアドレスの自動割当を行っているネットワークでは「IPアドレスを自動的に取得」のままにしてください。***

***8.*** **ローカルネットワークで使用する場合、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここでは、ローカルネットワーク用のIPアドレス（Class C）として定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。この例では、IPアドレスを「192.168.1.101」に「サブネットマスク」を「255.255.255.0」に設定しています。**




***9.*** **IPアドレスの設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし「TCP/IPのプロパティ」を閉じてください。**

**⚠ 注意**

***IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合は、それぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.101」だとすると2台目を「192.168.1.102」3台目を「192.168.1.103」4台目を「192.168.1.104」の様に設定してください。またサブネットマスクはネットワーク上ですべて同一にする必要があります。ここではすべて「255.255.255.0」に設定してください。***

**10.** 「識別情報」タブをクリックすると以下のようなウィンドウが表示されます。以下の各項目を入力してください。




**＜コンピュータ名＞**
**使用しているコンピュータに設定する名前を入力してください。ここで入力した名前が「ネットワークコンピュータ」上に表示されます。他のコンピュータと重複しないように設定してください。**

**＜ワークグループ＞**
**使用しているコンピュータが属するネットワーク名を入力します。ワークグループ名の設定が他のコンピュータと違うと、所属するネットワークが異なるために「ネットワークコンピュータ」を開いた際に他のコンピュータを表示することができなくなります。ネットワーク上のすべてのコンピュータで同じワークグループ名を設定してください。**

**＜コンピュータの説明＞**
**使用しているコンピュータに関する追加情報があれば記述します。特に記述しなくてもかまいません。**

***11.*** **[ネットワークの設定」タブをクリックします。「優先的にログオンする」をクリックして「Microsoftネットワーククライアント」を選択します。「Microsoftネットワーククライアント」を選択できない場合は、「現在のネットワーク構成」に「Microsoftネットワーククライアント」を追加してください。**

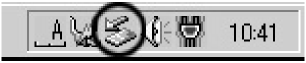



***12.*** **すべての設定が終了したら「ネットワーク」のプロパティの[OK] ボタンをクリックします。コンピュータを再起動するか聞いてきますので「はい」をクリックしてコンピュータを再起動してください。**

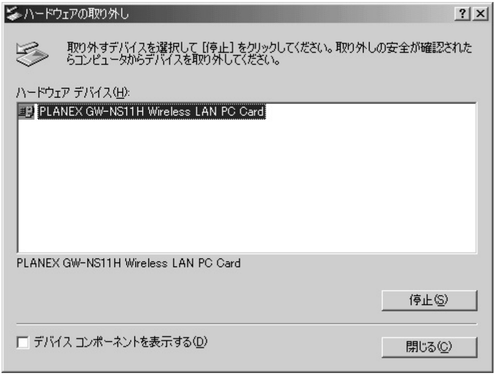
# 4 アダプタの取り外し

***1.*** **ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いている場合はすべて閉じます。また、ネットワークにアクセスしている場合は、アクセスが終了するまで待ちます。**

***2.*** **画面右下のタスクトレイに表示されている、PCカードアイコンをダブルクリックします。**




***3.*** **「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」が開きます。「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」をクリックし、[停止] ボタンをクリックします。**



**4.** **ハードウェアデバイスの停止ウィンドウが表示され、デバイスの停止をするか聞いてきますので［OK］ボタンをクリックします。**




**5.** **「PLANEX GW-NS11H Wirless LAN PC Cardは安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます。［OK］をクリックします。**




**6.** **本製品をコンピュータのPCカードスロットから取り外します。**

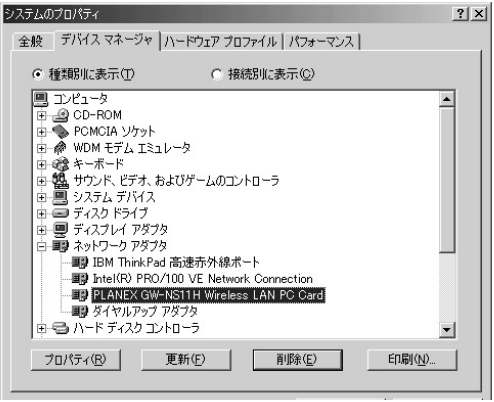
**⚠ 注意**

***上記以外の手順で取り外しを行うと、ネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。***

# 5 ドライバの削除方法

**ドライバの削除は以下の手順で行ってください。**

**1.「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」と開いて、「システム」をダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[デバイスマネージャ] タブをクリックしてください。ネットワークアダプタの左の [+] マークをクリックすると「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示されるのでこれを選択し [削除] ボタンをクリックしてください。**

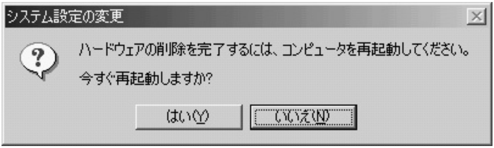



**表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在し、その左の [+] マークをクリックしたときに「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示される場合はこれを選択し [削除] ボタンをクリックしてください。**

**2.** **削除の確認のウィンドウが表示されるので［OK］ボタンをクリックしてください。**




**3.** **再起動を要求するメッセージが表示されますが、［いいえ］をクリックします。コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。**



# Windows 2000へのドライバインストール

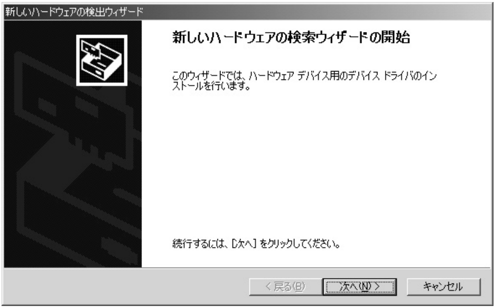
ここでは、本製品をWindows 2000で使用する場合のドライバのインストール方法について説明します。



## 1 ドライバのインストール

1. 本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットし、コンピュータの電源を入れます。

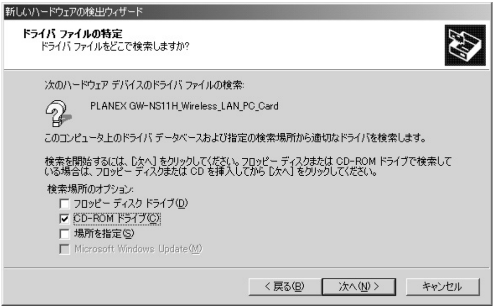
2. Windows 2000起動時に本製品が自動的に認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」がはじまります。[次へ]をクリックします。



**3.** **[デバイスに最適なドライバを検索する] を選択し、[次へ] をクリックします。**




**4.** **検索場所を指定するウィンドウが表示されるので、[CD-ROM ドライブ] だけをチェックし、他の項目からはチェックを外します。**
**付属のドライバCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、[次へ] をクリックします。**



**5.** **ドライバファイルが自動的に検索されます。「次へ」をクリックします。**




**6.** **インストールがはじまります。「デジタル署名が見つかりませんでした」というウィンドウが開きます。[はい] をクリックします。**



**7.** **ドライバのインストールが終了すると「新しいハードウェアの検索ウィザードの終了」が表示されますので、[完了] をクリックします。5-2の手順でデバイスマネージャーから本製品が正常に認識されている事を確認します。**



## 2 インストールの確認

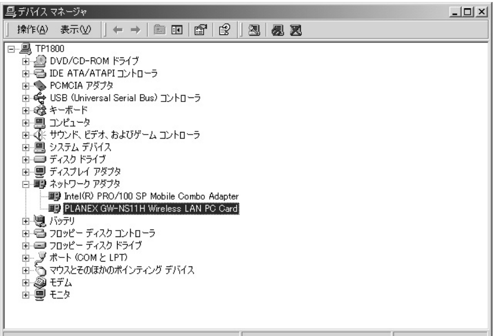
**ドライバのインストールが終了したら、下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。**

***1.*** **[マイコンピュータ]を開き、そこから[コントロールパネル]を開きます。**

***2.*** **[システム] を開き、[ハードウェア] のタブを開きます。**

***3.*** **[デバイスマネージャ] をクリックします。**

***4.*** **[デバイスマネージャ] から [ネットワークアダプタ] の左の [+] をクリックして、「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから5-1 の手順で再度インストールします。**



**5.「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」を選択し、[操作]から［プロパティ］を開きます。プロパティ画面の全般タブの中の「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。**



［リソース］タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース（I/Oポート、IRQ）を確認することができます。



## 3 ネットワーク設定

**ここでは、TCP/IPそれぞれのプロトコルを使用してネットワークに接続する場合の設定について説明します。本製品のシステムへのインストールが完了している事を確認してください。**

**1.** [マイコンピュータ] 開き、そこから [コントロールパネル] を開きます。

**2.** [ネットワークとダイアルアップ接続] を開き、[ローカルエリア接続] を開きます。[プロパティ] ボタンをクリックします。

**3.** [ローカルエリア接続のプロパティ] が開きます。現在のネットワークの設定状況を表しています。各コンポーネントの左側のアイコンはそれぞれ以下の物を表しています。また、各コンポーネントのチェックマークが入っているものが現在有効になっています。

 ：クライアント

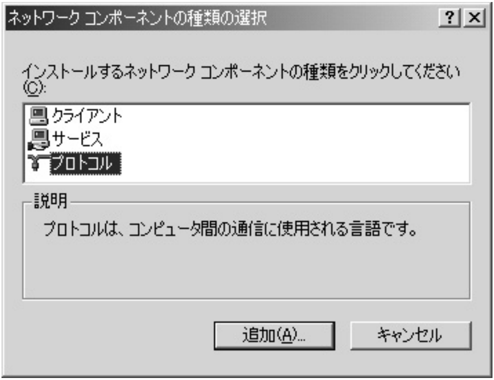
 ：プロトコル

 ：サービス

**コンポーネントの中に「Microsoftネットワーク用クライアント」「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が入っていない場合は、以下の手順で各コンポーネントを追加してください。すでに「Microsoftネットワーク用クライアント」「Microsoft用ファイルとプリンタ共有」「インターネットプロトコル(TCP/IP）」が入っている場合は、6.に進んでください。**



**4.** **［インストール］ボタンをクリックすると「ネットワークコンポーネントの種類の選択」ウィンドウが開きます。「プロトコル」をクリックして［追加］ボタンをクリックしてください。**



**5.**「ネットワークプロトコルの選択」ウィンドウが開きます。「ネットワークプロトコル」に表示される一覧から「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックして［OK］ボタンをクリックしてください。

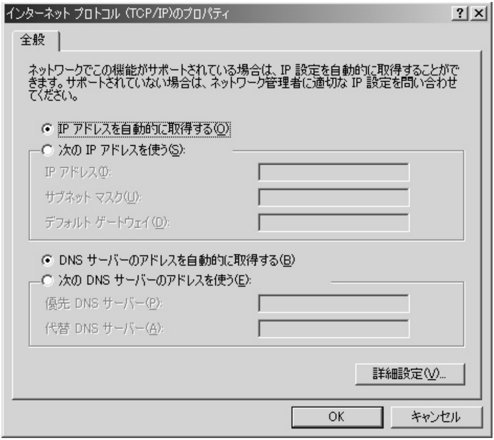



ローカルエリア接続のプロパティに「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が追加されます。

「Microsoftネットワーク用クライアント」「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」がインストールされていない場合は、同様の手順で「クライアント」と「サービス」から、必要なファイルをインストールしてください。インストール後、各コンポーネントにチェックマークが入っていることを確認します。

*6.* **TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有の「IPアドレス」を設定する必要があります。「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックしてください。**

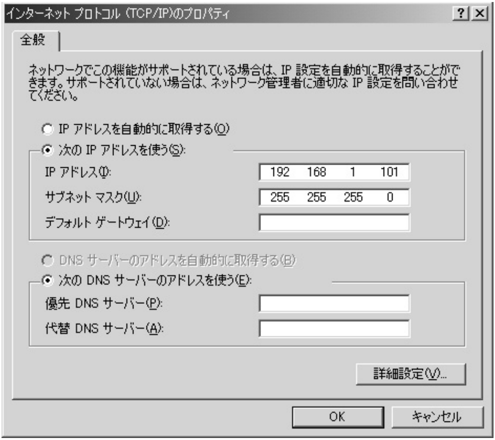
*7.* **初期設定値では「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックされています。「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力できるようにするには、「次のIPアドレスを使う」をチェックしてください。「IPアドレス」と「サブネットマスク」が入力できるようになります。**



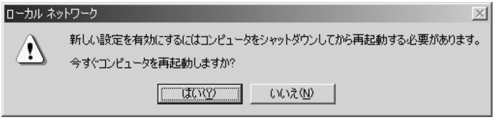
## 注意

***ここからの設定はIPアドレスを固定設定します。すでにブロードバンドルーターやDHCPサーバーなどによるIPアドレスの自動割当を行っているネットワークでは「IPアドレスを自動的に取得」のままにしてください。***

**8.** **ローカルネットワークで使用する場合、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここでは、ローカルネットワーク用のIPアドレス（Class C）として定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。この例では、IPアドレスを「192.168.1.101」に「サブネットマスク」を「255.255.255.0」に設定しています。**



**9.** **IPアドレスの設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」を閉じてください。「ローカルエリアのプロパティ」で［OK］ボタンをクリックして閉じてください。「ローカルエリア接続状態」を閉じます。再起動を要求される場合がありますので、その場合は再起動してください。**




### ⚠ 注意

***IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合は、それぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.101」だとすると2台目を「192.168.1.102」3台目を「192.168.1.103」4台目を「192.168.1.104」の様に設定してください。またサブネットマスクはネットワーク上ですべて同一にする必要があります。ここではすべて「255.255.255.0」に設定してください。***

**10.**「コントロールパネル」から「システム」を開きます。「システムのプロパティ」が表示されますので、「ネットワークID」タブをクリックします。



**11.** **［プロパティ］ボタンをクリックします。識別の変更ウィンドウが開きます。以下の各項目を入力してください。**




**＜コンピュータ名＞**

**使用しているコンピュータに設定する名前を入力してください。ここで入力した名前が「ネットワークコンピュータ」上に表示されます。他のコンピュータと重複しないように設定してください。**

**＜ワークグループ＞**

**使用しているコンピュータが属するネットワークグループ名を入力します。ワークグループ名の設定が他のコンピュータと違うと、所属するネットワークグループが異なるために「ネットワークコンピュータ」を開いた際に他のコンピュータを表示することができなくなります。ネットワーク上のすべてのコンピュータで同じワークグループ名を設定してください。**

**<ドメイン>**

**使用しているコンピュータが属するNTドメイン名を入力します。NTドメインへの参加にはドメインの管理者権限が必要になります。ドメインへ参加する場合はネットワーク管理者に相談してください。**

**12.** **入力が終了したら［OK］ボタンをクリックしてください。再起動の要求メッセージが出ますので、［はい］ボタンをクリックして、再起動してください。再起動後パスワードを入力してデスクトップ上のネットワークコンピュータアイコンをダブルクリックするとネットワークが参照できるようになります。**

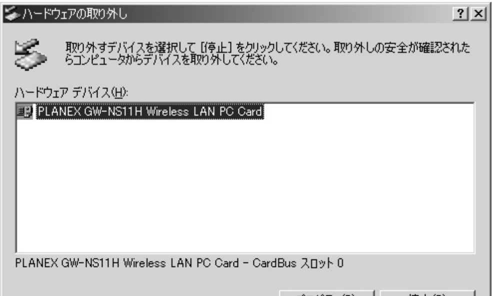
## 4 アダプタの取り外し

**1.** ネットワークコンピュータ上のディレクトリが開いている場合はすべて閉じます。また、ネットワークにアクセスしている場合は、アクセスが終了するまで待ちます。

**2.** 画面右下のタスクトレイに表示されている、PCカードアイコンをダブルクリックします。




**3.** 「ハードウェアの取り外し」が開きます。「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」をクリックし、[停止] をクリックします。



**4.「ハードウェアデバイスの取り外し」が表示されます。[OK] をクリックしてください。**




**5.「"PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card"は安全に取り外せます。」というメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。**




**6.本製品をコンピュータのPCカードスロットから取り外します。**

### ⚠ 注意

***上記以外の手順で取り外しを行うと、ネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。***

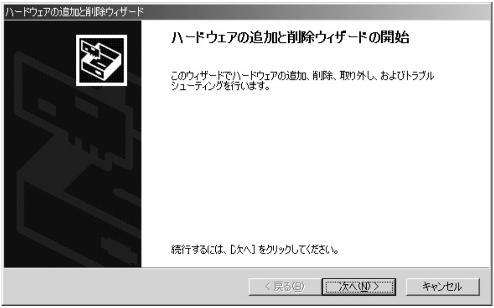
# 5 ドライバの削除方法

**ドライバの削除は以下の手順で行ってください。**

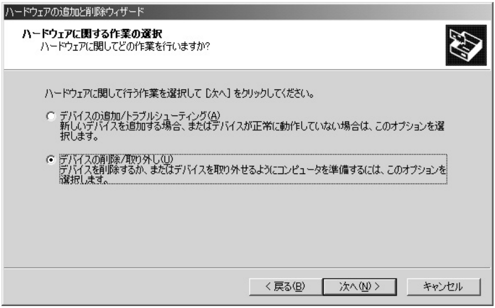
**1.** **[マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックし、そこから [コントロールパネル] をダブルクリックしてください。**

**2.** **[システム] アイコンをダブルクリックしてください。「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、[ハードウェア] タブをクリックしてください。「ハードウェアウィザード」ボタンをクリックしてください。**

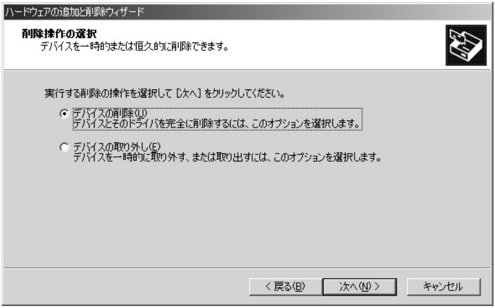
**3.** **「ハードウェアの追加と削除の開始」ウィンドウが開きますので、「次へ」ボタンをクリックします。**



**4.「ハードウェアに関する作業の選択」ウィンドウが開きますので、「デバイスの削除/取り外し」にチェックを入れ「次へ」ボタンをクリックしてください。**




**5.「削除作業の選択」ウィンドウが開きますので、「デバイスの削除」にチェックマークを入れ、「次へ」ボタンをクリックして下さい。**



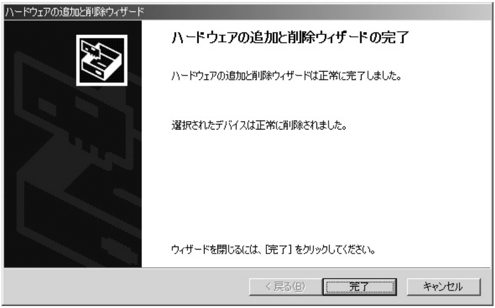
**6.** **「削除するデバイスを選択してください」と表示されますので、「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」を選択して、[次へ] ボタンをクリックしてください。**




**7.** **「デバイスの削除」ウィンドウが開きますので、「はい、このデバイスを削除します」にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックしてください。**



**8.** 「選択されたデバイスは正常に削除されました」と表示されますので、[完了] ボタンをクリックして「ハードウェアの追加と削除ウィザード」を終了します。




**9.** コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。

# Windows XPへのドライバインストール

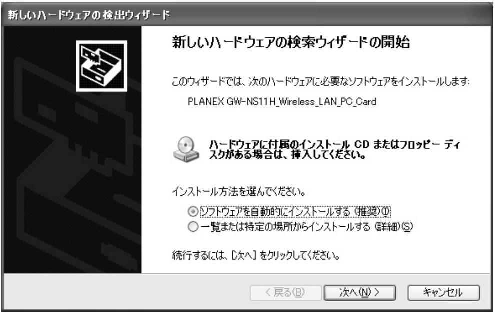
ここでは、本製品をWindows XPで使用する場合のドライバのインストール方法について説明します。

## 1 ドライバのインストール

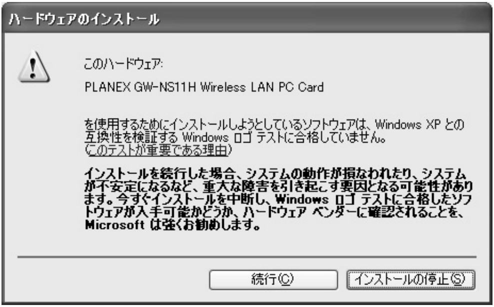


*1.* 本製品をコンピュータのPCカードスロットにセットし、コンピュータの電源を入れます。

*2.* Windows XP起動時に本製品が自動的に認識され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」がはじまります。付属のドライバCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、[次へ] をクリックします。



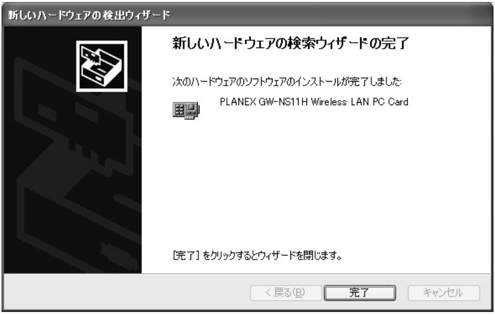
**3.** **ドライバが自動的に検出され、インストールがはじまります。途中で「ロゴテストに合格していません」というメッセージが表示されますが、「続行」をクリックします。**




**注意**

***このメッセージはMicrosoftによるハードウェア互換試験（WHQL）を取得していない場合に表示されます。ドライバをインストールしてもシステムに問題を発生させることはありませんので、インストールを続行してください。***

**4.** **ドライバのインストールが終了すると「新しいハードウェアの検索ウィザードの終了」が表示されますので、[完了] をクリックします。6-2の手順でデバイスマネージャーから本製品が正常に認識されている事を確認します。**



## 2 インストールの確認

**ドライバのインストールが終了したら、下記の手順でインストールが正常に終了したかを確認します。**

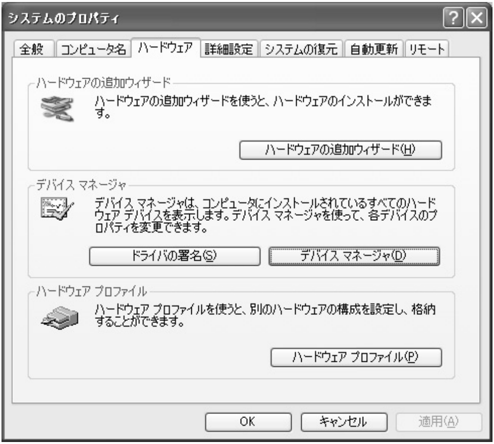
***1.* [スタート] をクリックし、スタートメニューからコントロールパネルを選択します。**



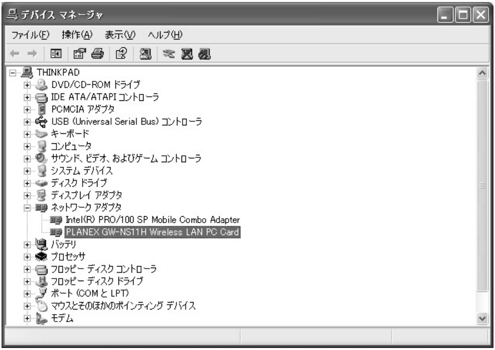
**2.** [コントロールパネル] が表示されるので、[パフォーマンスとメンテナンス] を開きます。[パフォーマンスとメンテナンス] の中から、[システム] を選択します。



**3.** ［システムのプロパティ］が表示されます。「ハードウェア」タブを開き、「デバイスマネージャ」をクリックします。



**4.** **[デバイスマネージャ] から [ネットワークアダプタ] の左の [+] をクリックして、「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示されるか確認してください。ネットワークアダプタの下に「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示されない、またはアイコンに「?」や「!」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。ドライバを一旦削除してから5-1 の手順で再度インストールします。**



**5.** **「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」を選択し、［操作］から［プロパティ］を開きます。プロパティ画面の全般タブの中の「デバイスの状態」に「このデバイスは正常に動作しています。」というメッセージが表示されればドライバのインストールは成功です。**



**6.** [リソース] タブをクリックすると、アダプタが使用しているリソース (I/Oポート、IRQ) を確認することができます。



## 3 ネットワーク設定

**ここでは、TCP/IPそれぞれのプロトコルを使用してネットワークに接続する場合の設定について説明します。本製品のシステムへのインストールが完了している事を確認してください。**

***1.*** **［スタート］をクリックし、スタートメニューをポップアップさせます。スタートメニュー内の、［接続］から［ワイヤレスネットワーク接続］を選択します。**



**2.** **[ワイヤレスネットワークへの接続の状態] ウィンドウが開きます。[プロパティ] をクリックします。**




### ⚠ 注意

***他の無線LAN機器と接続が確立されていない場合は、[ワイヤレスネットワークへの接続] ウィンドウが開きます。この場合は [詳細設定] を」クリックします。***

**3.** [ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ] が開きます。[全般] タブを開きます。現在のネットワークの設定状況を表しています。各コンポーネントの左側のアイコンはそれぞれ以下の物を表しています。また、各コンポーネントのチェックマークが入っているものが現在有効になっています。

 ： クライアント

 ： プロトコル

 ： サービス

コンポーネントの中に「Microsoftネットワーク用クライアント」「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が入っていない場合は、以下の手順で各コンポーネントを追加してください。すでに「Microsoftネットワーク用クライアント」「Microsoft用ファイルとプリンタ共有」「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が入っている場合は、6.に進んでください。



**4.** **［インストール］ボタンをクリックすると「ネットワークコンポーネントの種類の選択」ウィンドウが開きます。「サービス」をクリックして［追加］ボタンをクリックしてください。**




6

Windows XPへのドライバインストール

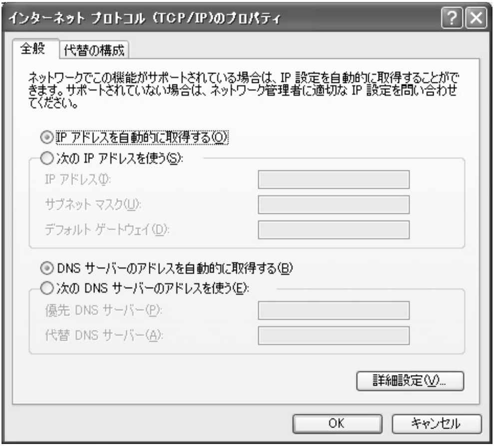
**5.** **「ネットワークサービスの選択」ウィンドウが開きます。「ネットワークプロトコル」に表示される一覧から「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」をクリックして[OK]ボタンをクリックしてください。**




**ローカルエリア接続のプロパティに「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」が追加されます。**
**「Microsoftネットワーク用クライアント」「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」がインストールされていない場合は、同様の手順で「クライアント」と「サービス」から、必要なファイルをインストールしてください。インストール後、各コンポーネントにチェックマークが入っていることを確認します。**

**6.** **TCP/IPプロトコルでネットワークを構築するためには、コンピュータ（ネットワークアダプタ）ごとに固有の「IPアドレス」を設定する必要があります。「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し、[プロパティ]ボタンをクリックしてください。**

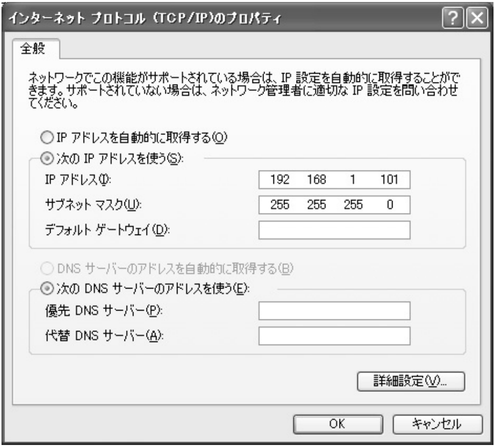
**7.** **初期設定値では「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックされています。「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力できるようにするには、「次のIPアドレスを使う」をチェックしてください。「IPアドレス」と「サブネットマスク」が入力できるようになります。**




## ⚠ 注意

***ここからの設定はIPアドレスを固定設定します。すでにブロードバンドルーターやDHCPサーバーなどによるIPアドレスの自動割当を行っているネットワークでは「IPアドレスを自動的に取得」のままにしてください。***

**8.** **ローカルネットワークで使用する場合、IPアドレスには任意の番号を使うことができますが、ここでは、ローカルネットワーク用のIPアドレス（Class C）として定義されている「192.168」で始まるアドレスを使用します。この例では、IPアドレスを「192.168.1.101」に「サブネットマスク」を「255.255.255.0」に設定しています。**



**9.** **IPアドレスの設定が終わったら［OK］ボタンをクリックし「インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ」を閉じてください。「ローカルエリアのプロパティ」で［OK］ボタンをクリックして閉じてください。「ローカルエリア接続状態」を閉じます。**

**注意**

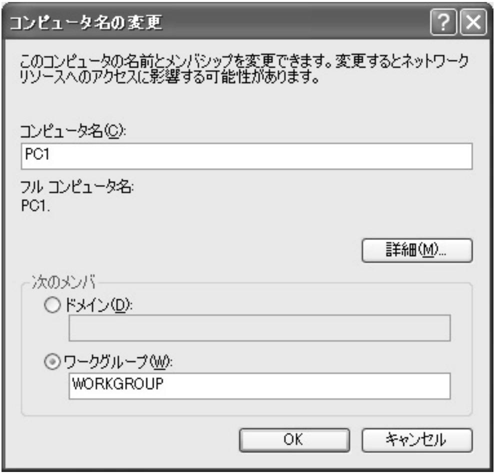
***IPアドレスは必ず固有のアドレスを設定する必要があります。例えば複数のパソコンをネットワークで接続した場合は、それぞれのパソコン毎に異なるアドレスを設定します。1台目のIPアドレスが「192.168.1.101」だとすると2台目を「192.168.1.102」3台目を「192.168.1.103」4台目を「192.168.1.104」の様に設定してください。またサブネットマスクはネットワーク上ですべて同一にする必要があります。ここではすべて「255.255.255.0」に設定してください。***



**10.** **「コントロールパネル」を開き、パフォーマンスとメンテナンスから「システム」を開きます。「システムのプロパティ」が表示されますので、「コンピュータ名」タブをクリックします。**



**11.** **[変更] ボタンをクリックします。「コンピュータ名の変更」ウィンドウが開きます。以下の各項目を入力してください。**




**＜コンピュータ名＞**

**使用しているコンピュータに設定する名前を入力してください。ここで入力した名前が「ネットワークコンピュータ」上に表示されます。他のコンピュータと重複しないように設定してください。**

**＜ワークグループ＞**

**使用しているコンピュータが属するネットワークグループ名を入力します。ワークグループ名の設定が他のコンピュータと違うと、所属するネットワークグループが異なるために「ネットワークコンピュータ」を開いた際に他のコンピュータを表示することができなくなります。ネットワーク上のすべてのコンピュータで同じワークグループ名を設定してください。**

**＜ドメイン＞**
**使用しているコンピュータが属するNTドメイン名を入力します。NTドメインへの参加にはドメインの管理者権限が必要になります。ドメインへ参加する場合はネットワーク管理者に相談してください。**

***12.*** **入力が終了したら［OK］ボタンをクリックしてください。再起動の要求メッセージが出ますので、［はい］ボタンをクリックして、再起動してください。再起動後パスワードを入力してデスクトップ上のネットワークコンピュータアイコンをダブルクリックするとネットワークが参照できるようになります。**

## 4 アダプタの取り外し

**本製品はゼロコンフィグレーションに対応していますので、無通信状態であればWindows XP上では自由に着脱可能です。アダプタを取り外す時はデータの通信が無い事を確認してから取り外してください。**

**注意**

***上記以外の手順で取り外しを行うと、ネットワークエラーが発生する可能性があります。必ず上記の手順を守って取り外しを行ってください。***

**※ゼロコンフィグレーションとは**
**Windows XPに追加された機能のひとつで、無線ネットワークの設定をすることなく簡単に無線ネットワークから他のネットワークへのシームレスなローミングを可能にするものです。例えば、購入した無線LANカードを挿入してESSIDなどの煩わしい設定をすることなく即、既存のネットワークに簡単に接続することが出来るという機能です。**

# 5 ドライバの削除方法

**ドライバの削除は以下の手順で行ってください。**

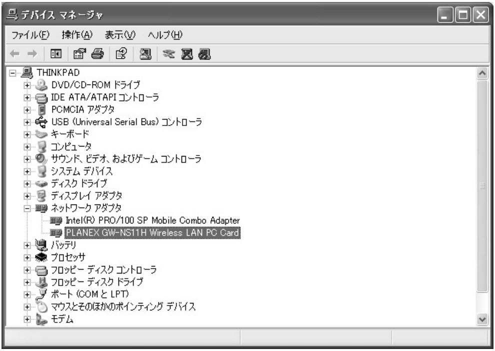
**1.** **[スタート] をクリックし、スタートメニューをポップアップさせます。スタートメニュー内の、[マイコンピュータ] を "右クリック" して表示されるメニューから、プロパティを選択します。**



**2.** **［システムのプロパティ］が表示されるので、［ハードウェア］のタブを開きます。**

**3.** **［デバイスマネージャ］をクリックし、［デバイスマネージャ］を起動します。**

**4.** **［デバイスマネージャ］から［ネットワークアダプタ］の左の［+］をクリックすると「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示されるのでこれを選択し、［操作］から［削除］をクリックしてください。**




**表示されない場合はドライバが正常にインストールされていない可能性があります。もし「その他のデバイス」が存在し、その左の［+］マークをクリックしたときに「PLANEX GW-NS11H Wireless PC Card」が表示される場合はこれを選択し［削除］ボタンをクリックしてください。**

5. 削除の確認のウィンドウが表示されるので［OK］ボタンをクリックしてください。




6. コンピュータの電源を切り、本製品をコンピュータから取り外してください。

# 設定ユーティリティの インストールと設定

**GW-NS11Hのドライバ＆ユーティリティーCD-ROMにはアダプタの診断および設定ユーティリティが含まれます。このユーティリティには以下の機能を提供します。**

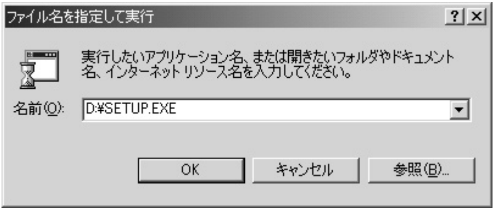
**●GW-NS11Hの電波状態/通信状態を表示します。**
**●GW-NS11Hの現在の構成を表示します。**
**●GW-NS11Hのワイヤレスネットワーク設定を行います。**



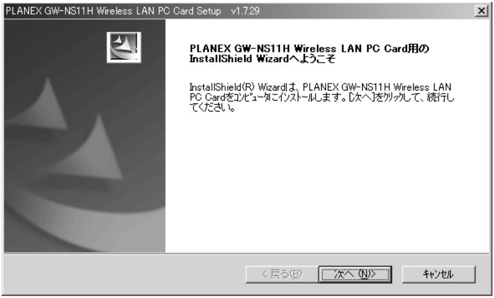
## 1 設定ユーティリティのインストール

**1.** **本製品に付属のドライバ＆ユーティリティーCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブに挿入します。**

**2.** **「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。「名前」に D:\SETUP.EXE（CD-ROMドライブがDドライブの場合）と入力して「OK」ボタンをクリックします。**




**3.** **ユーティリティーのインストーラが起動します。「次へ」をクリックします。**



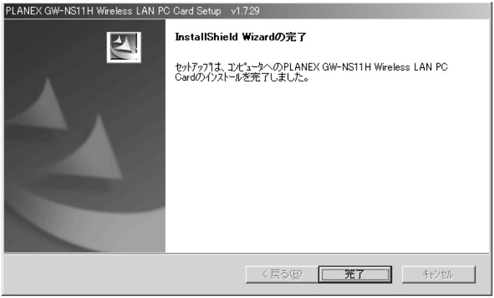
**4.** **インストール先のパスを指定するウィンドウが表示されます。インストール先のパスを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックします。続行する場合は、「次へ」ボタンをクリックします。**




**5.** **インストールの設定を確認するウィンドウが表示されます。設定内容を確認して「次へ」をクリックします。ユーティリティーのインストールがはじまります。**



**6.** **「Install Wizardの完了」ウィンドウが表示されたら「完了」をクリックします。**




**これでインストールは、終了です。**

## 2 設定ユーティリティを使用する

**本製品をコンピュータにセットし、ドライバが正常にインストールされているとタスクトレイに自動的にユーティリティーが常駐します。**




**アイコンの色によって接続状態と電波状態を表します。**

**・アイコンが緑色 ： 接続できており電波が強い状態を示します。**
**・アイコンが黄色 ： 接続できており電波が弱い状態を示します。**
**・アイコンが赤色 ： 接続できていない状態を示します。**

**アイコンをダブルクリックするとユーティリティーが起動します。**

## ■状態

**本製品の接続状態を表示します。**




### ＜ステータス＞
**接続先のアクセスポイントのMACアドレスが表示されます。**

### ＜送信速度＞
**現在の送信速度が表示されます。**

### ＜チャンネル＞
**現在使用中のチャンネル番号が表示されます。**

### ＜転送速度＞
**送信と受信の転送レートがリアルタイムに表示されます。**

### ＜通信状態＞
**現在の通信品質が表示されます。**

### ＜電波状態＞
**現在の電波の強さが表示されます。**

[通信無効] をクリックすると通信を停止します。再度クリックすると通信を開始します。
[再検索] をクリックすると接続先を検索します。

## ■設定

本製品の通信設定を行います。




### ＜設定名＞

本製品は複数の設定情報を保持し、切り替えて使用することが可能です。設定した内容はそれぞれ [設定名] によって管理されます。新しい設定を追加する場合には任意の設定名を入力してから各設定を行ってください。

## ＜ネットワーク名＞

ネットワーク名はESS IDの設定を行います。ESS IDを設定することによりワイヤレスLANグループを作成することが可能になります。ESS IDを設定した場合は同じIDをもつコンピュータまたはアクセスポイントしか通信を行う事ができません。ESS IDを設定する場合は「設定する」をチェックしてESS IDを入力します。設定しない場合は「設定しない」をチェックします。

## ＜ネットワークタイプ＞

ワイヤレスLANネットワークには、通常アクセスポイント使用してそれぞれの端末が通信をおこなうインフラストラクチャモードまたはアクセスポイントを使用せずにそれぞれの端末同士が通信をおこなうアドホックモードがあります。
インフラストラクチャモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は「AccessPoint」を選択します。
アドホックモードでワイヤレスネットワークを構築する場合は、「Peer to Peer」を選択します。「アドホックモード」でワイヤレスネットワークを構築する場合は「チャンネル」リストボックスから使用するチャンネル番号を選択します。

## ＜省電力＞

省電力機能を設定することができます。省電力機能を有効にした場合には、無通信時に送信電波を弱くすることで消費電力を抑えることが出来ます。省電力機能を有効にするにはチェックボックスにチェックを入れてください。

**＜送信速度＞**

**送信速度を設定することが出来ます。Auto/1/2/5.5/11Mbpsから選択可能です。ワイヤレスLANでは、転送速度が遅いほど伝送距離が伸びパケットの損失率は下がります。アクセスポイント、端末までの距離が長いまたは無線に適していない環境の場合は伝送速度を調整することにより最適なパフォーマンスを発揮することが可能になります。リストボックスから選択可能な速度は以下の通りです。**

| | | |
|---|---|---|
| **「Fixed 1Mb/s」** | **：** | **伝送速度を1Mb/sに固定します。** |
| **「Fixed 2Mb/s」** | **：** | **伝送速度を2Mb/sに固定します。** |
| **「Auto Select 1 or 2Mb/s」** | **：** | **伝送速度を1又は2Mb/sから自動的に選択します。** |
| **「5.5Mb」** | **：** | **伝送速度を5.5Mb/sに固定します。** |
| **「11Mb」** | **：** | **伝送速度を11Mb/sに固定します。** |
| **「Fully Automatic」** | **：** | **伝送速度を自動的に選択します。** |

**「OK」または「適用」をクリックすると設定が保存／変更されます。**

## ■暗号化

**通信時のWEP（Wired Equivalent Privacy）機能の設定を行います。**




**WEP機能は、キーワードを暗号化して転送データにスクランブルをかける機能です。この機能を有効に設定するとより高いセキュリティを使用したネットワークを実現することが可能です。WEP機能有効時には、グループ内の すべてのコンピュータが同じWEPキーを使用する必要があります。以下の手順でWEP機能を設定します。**

### ＜暗号＞

**WEP機能の有効/無効を切り替えます。64bit（64bitのWEPを使用）または128bit（128bitのWEPを使用）、Disable（WEPを使用しない）のいずれかから選択します。**

＜直接入力＞

WEPキーを直接文字列で指定するときに使用します。

英数字5文字/13文字　：WEPキーを任意の英数字で指定する場合にはこちらを選択します。64bitのWEPでは5文字、128bitのWEPでは13文字で指定します。

16進数10文字/20文字：WEPキーを16進数（1-9,A-F）で指定する場合にはこちらを選択します。64bitのWEPでは10文字、128bitのWEPでは26文字で指定します。

Key 1〜4　：WEPキーを入力します。英数字または16進数の指定した文字列で既定の文字数を入力します。64bitのWEPでは最大で4つのWEPキーを登録出来ます。

WEP ON/OFF　：使用するWEPキーを指定します。64bitのWEPでは最大4つのWEPキーを登録し、その中から使用するWEPキーを指定します。

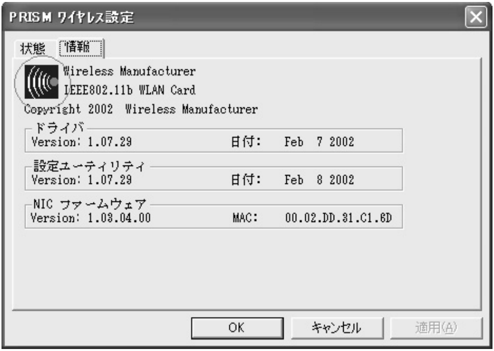
＜キーワード入力＞

WEPキーを任意の文字列によるキーワードで指定するときに使用します。

「OK」または「適用」をクリックすると設定が保存／変更されます。即座に設定が反映されますので、WEPキーを十分に確認して設定してください。

## ■情報

**ソフトウェアのバージョン情報が表示されます。**




### ＜ドライバ＞

**ドライバのバージョン情報が表示されます。**

### ＜設定ユーティリティー＞

**設定ユーティリティー情報が表示されます。**

### ＜NICファームウェア＞

**ワイヤレスカードのファームウェアバージョン及びワイヤレスカードのMACアドレスを表示します。**

# 3 Windows XP上でユーティリティを使用する場合

本製品はWindows XPのワイヤレス・ゼロコンフィグレーションに対応しています。その為、Windows XP上で本製品をご利用になられる場合には、無線の設定及びWEPの設定はWindows XPが自動的に行います。

**注意**

*IPアドレス等のプロトコル設定等は通常のネットワークと同様に行う必要があります。*

Windows XP上で本製品付属の設定ユーティリティーを使用する場合には下記の手順で行います。

**1.** **［スタート］をクリックし、スタートメニューをポップアップさせます。スタートメニュー内の、［接続］から［ワイヤレスネットワーク接続］を選択します。**



## 2. [ワイヤレスネットワークへの接続] ウィンドウが開きます。[プロパティ] をクリックします。




**注意**

***他の無線LAN機器と接続が確立されていない場合は[ワイヤレスネットワークへの接続]ウィンドウが開きます。この場合は [詳細設定] をクリックします。***

**3.** [ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ] が開きます。[ワイヤレスネットワーク] タブを開きます。[Windowsを使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する] のチェックボックスのチェックを外します。




**4.** [OK] をクリックします。7-2の手順で本製品の設定を行います。

# トラブルシューティング

ここでは本製品のインストール時に発生する代表的な問題点とその対応方法について説明します。

●アダプタを取り付けてコンピュータを立ち上げたが、アダプタが検出されない。

→本製品はPCカードスロット用アダプターカードです。PCカードスロットが正常にインストールされていない場合は、検出されません。デバイスマネージャーの「PCMCIAソケット」の中にあるデバイスが正常に動作しているか確認してください。「！」マークなどが付いて正常に動作していない場合はご使用のコンピュータのメーカーにお問い合わせください。

→デバイスマネージャーの「その他のデバイス」の中に「PLANEX GW-NS11H_Wireless_LAN_PC_Card」が入っていないか確認してください。入っている場合は削除してからコンピュータを再起動してください。

●Windowsのデバイスマネージャーでアダプタに「！」マークが表示される。

→リソースの競合の可能性があります。デバイスマネージャーからアダプタのプロパティを開き、[リソース] タブを開きます。リソースが競合している場合は、競合しているデバイスのリソースを変更してください。また、取り付けているスロットを変更した場合に競合が解消される場合もありますので、取り付けるスロットを変えてみてください。

→ドライバがのインストールが正常に終了していない可能性があります。
一旦、デバイスを削除してからコンピュータを再起動して、ドライバをインストールしなおしてください。

●ドライバが正常にインストールされているがLINK LEDが点灯しない。

→ネットワークタイプが正しく設定されて無い場合があります。接続したい相手に合わせたネットワークタイプを選択してください。アクセスポイントが接続先の場合にはインフラストラクチャモードに、コンピュータが接続先の場合にはアドホックモードに設定してください。

→通信速度が合っていない場合があります。通信速度が接続先と同じ設定になっているか確認してください。

→チャンネルが合っていない場合があります。アドホックモードの場合には通信相手と同じチャンネルに設定する必要があります。同じチャンネルに設定されているか確認してください。

→ESS IDが違っている場合があります。ESS IDを設定している場合には同じESS IDの機器同士でしか通信できません。ESS IDが接続先と同じになっているか確認してください。

→WEPの設定が間違えている場合があります。WEP機能を利用する場合には、同じ暗号キー同士の機器でしか接続できません。WEP機能を利用している場合にはWEPキーの設定が同じか確認してください。

●ドライバが正常にインストールされ、LINK LEDも点灯しているがネットワークコンピュータを開いてもコンピュータの一覧が表示されない。

→Windowsの起動時に正常にログインしているか確認してください。ログインするときにユーザー名とパスワードを正確に入力してください。

→通信しようとしているコンピュータと同じ通信プロトコルを使用しているか、確認してください。ネットワークのプロパティからインストールされているプロトコルを確認してください。

→ネットワークのプロパティを開いて「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、インストールしてください。

●ドライバが正常にインストールされ、LINK LEDも点灯しているがネットワーク経由でインターネットにアクセスできない。

→TCP/IPプロトコルがインストールされているか確認してください。インターネットへのアクセスにはTCP/IPプロトコルが必要です。ネットワークのプロパティを開いて、インストールされていない場合はインストールしてください。

→IPアドレスが正しく設定されているか確認してください。IPアドレスの設定が間違えていると通信できません。

→IPアドレスが自動取得の場合はアドレスが正常に取得できているか、確認してください。スタートメニューからファイル名を指定して実行を選択して、 winipcfg と入力して[OK] をクリックしてください。現在のIPが表示されます。ネットワーク管理者に取得しているIPアドレスに問題ないか確認してください。

→DNS（ドメイン・ネーム・サーバー）及びデフォルトゲートウェイの設定に問題がないか確認してください。TCP/IPのプロパティを開いて、設定されている値に問題がないかネットワーク管理者に問い合わせてください。

**●アダプターをインストールするとWindowsの起動が遅くなる。**

**→IPアドレスを自動取得する設定になっており、ネットワーク上にDHCPサーバが存在しない場合に発生することがあります。TCP/IPプロトコルでネットワークを構成されていない環境でしたら、ネットワークのプロパティからTCP/IPを削除していただくか、もしくは適当なIPアドレスを設定してください。**

**●アダプターのインストール後、Windowsの起動時に文字化けのようなメッセージが表示されたり、「ファイルが読み込めない」というエラーメッセージが表示される。**

**→ネットワークコンポーネントが正常にインストールされていない可能性があります。ネットワークのプロパティから「Microsoftネットワーククライアント」「Microsoftネットワーク共有サービス」を一旦削除してから、再度インストールしてください。**

# 仕様



## ＜準拠する規格＞

IEEE802.11/802.11b、ARIB STD-33A/STD-T66準拠
PCMCIA 2.1/JEIDA 4.2準拠

## ＜バス・タイプ＞

PCMCIA 2.1/JEIDA4.2 TypeII

## ＜転送速度＞

1/2/5.5/11Mbps

## ＜周波数帯＞

2.4～2.497GHz

## ＜チャンネル数＞

14ch

## ＜通信距離＞

11Mbps時50m 5.5/2/1Mbps時80m（屋内使用時、見通し距離）
※環境により上記距離を満たせない場合があります。

## ＜アンテナタイプ＞

ダイバシティアンテナ

## ＜変調方式＞

CCK　　：11Mbps、5.5Mbps
DQPSK　：2Mbps
DBPSK　：1Mbps

## ＜LEDインディケータ＞

Power、Link

### ＜消費電力＞
**最大1.5W**

### ＜外形寸法＞
**115mm（L）×54mm（W）×7.5（H）mm**

### ＜重量＞
**42.3g**

### ＜動作温度＞
**0～40℃**

### ＜動作湿度＞
**10～80%（結露しないこと）**

### ＜EMI＞
**CE、FCC Class B、VCCI Class B**

# 設置環境への注意



**ワイヤレスLANはケーブルの配線や工事等が必要ないため誰でも簡単に使用することが可能ですが設置場所または通信したい端末との間に以下の物質を使用した遮蔽物がある場合は、転送速度の低下あるいは通信出来ないなどの問題が生じます。安定した通信を行うには出来る限りこれらの環境要因を避けて設置してください。**

| 環境要因 | 転送距離への影響<br>（＊が多いほど、影響が大きいことを表します。） | 具体例 |
|---|---|---|
| 空気 | ＊ | ― |
| 石材 | ＊＊ | 木材の仕切り |
| 石膏 | ＊＊ | 仕切り壁 |
| 合成素材 | ＊＊ | ベニヤ板の仕切り |
| アスベスト | ＊＊ | 天井 |
| ガラス | ＊＊ | 窓ガラス |
| 水 | ＊＊＊ | 湿った木材 |
| 煉瓦 | ＊＊＊ | 煉瓦壁 |
| 大理石 | ＊＊＊＊ | 石壁 |
| セメント<br>コンクリート | ＊＊＊＊ | 床、壁 |
| 防弾ガラス | ＊＊＊＊ | 哨舎 |
| 鉄 | ＊＊＊＊＊ | 鉄の仕切り<br>強化コンクリート壁 |

# MEMO

# MEMO

# MEMO

# MEMO

# ユーザー登録について

**この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。**

**ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ユーザー登録を行って戴いたお客様の中から毎月抽選でプレゼントを差し上げております。**

**http://www.planex.co.jp/user/user.htm**

# 弊社へのお問い合わせ

**■弊社製品の追加購入**

**弊社製品のご購入は、販売店様またはPCIダイレクトまで。**
**ケーブル1本からレイヤ3スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。**

**〈PCIダイレクト〉**
**http://direct.planex.co.jp/**

**■製品に関するお問い合わせ**

**製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。**
**ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。**

**〈ご質問/お見積もりフォーム〉**
**http://www.planex.co.jp/lan.htm**

**■技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ**

**製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。**
**豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。**

**〈お問い合わせフォーム〉**
**http://www.planex.co.jp/support/techform.htm**
**受付：24時間**
**〈電話〉**
**フリーダイヤル：0120-415977**
**受付：月～金曜日、10～12時、13～17時**
**＊祝祭日および弊社規定の休業日を除く**
**〈FAX〉**
**ファクス番号：03-5614-1018**
**受付：24時間**

**◇お問い合わせ前のお願い**

**サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前に以下のものをご用意ください。**
**お客様のご協力お願いいたします。**

- **弊社製品の製品型番とシリアルナンバー**
- **ご利用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名（Windows XP/Meなど）**
- **ご利用のネットワークの環境（回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など）**
- **ご質問内容（現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください）**

**■その他**

**その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。**

**プラネックスコミュニケーションズ**
**http://www.planex.co.jp/**

**注）上記内容は2002年5月現在の情報です。内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。**

# 質 問 表

**技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。**

**プラネックスコミュニケーションズ テクニカルサポート担当 行**

**FAX：03-5614-1018**

**送信日：＿＿＿＿＿＿＿＿**

| 会社名 | | | |
|---|---|---|---|
| 部署名 | | | |
| 名前 | | | |
| 電　話 | | ＦＡＸ | |
| E-MAIL | | | |

| 製品名 | 11Mbps 無線LAN PCカード |
|---|---|
| 型番<br>Product No. | GW-NS11H |
| 製造番号<br>Serial No. | |

## ① ご使用のコンピュータについて

| メーカー | |
|---|---|
| 型番 | |

## ② ソフトウェア

| ネットワーク OS | | バージョン | |
|---|---|---|---|
| OS | | バージョン | |

## ③ 質問内容

# 保 証 規 定

プラネックスコミュニケーションズ（株）は、本製品についてご購入日より本保証書に記載の保証期間を設けております。
本製品付属の取扱説明書などに従った正常な使用状態の下で、万一保証期間内に故障・不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応を行います。
ただし、次のような場合には保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書がない場合。
2. 本保証書に、ご購入日・お名前・ご購入代理店印の記入がない場合、または字句が改ざんされている場合。
3. 取扱上の誤り、または不当な改造や修理を原因とする故障及び損傷。
4. ご購入後の輸送・移動・落下による故障及び損傷。
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧およびその他の天変地異など、外部に原因がある故障および損傷。
6. 他の機器との接続に起因する故障・損傷。

**初期不良交換**

保証期間発生日より1ヶ月以内の故障に関しては、初期不良交換サービスの対象となります。
お客様より初期不良である旨申告していただき、弊社がその申告現象を確認した場合に限り、初期不良品として新品と交換いたします。
ただし、検査の結果、動作環境や相性を起因とする不具合であった場合には、初期不良交換サービス対象とはなりません。また、当サービスをご利用頂くには、お買い上げ商品の全ての付属品が揃っていることが条件になります。

**◎初期不良・修理依頼の手順（センドバック方式）**

弊社では、センドバック（先に修理依頼品をお送りいただき、弊社より修理完了品をご返却する）方式による修理対応を行っております。

1.本製品に故障・不具合が発生した場合、弊社サポートセンターまでご連絡ください。お送り先をご案内させていただきます。
　　プラネックスコミュニケーションズ（株）サポートセンター
　　フリーダイヤル・0120-415977　　FAX・03-5614-1018
　　Web・http://www.planex.co.jp/support/repair.htm
2.ご案内に従って、修理依頼品を弊社リペアセンターまでお送りください。
（誠に勝手ながら,リペアセンターへお送りいただく際の送料はお客様のご負担でお願いいたします。）
3.当該初期不良・修理品の到着後、初期不良の場合は交換品、修理の場合は修理完了品をお送りいたします。

---

**免責事項**

- お客様及び第三者の故意または過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- 本製品の使用及び不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断及び事業利益の損失、記憶装置の内容の変化、消失等）につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- 本製品に装着することにより他の機器に生じた故障・損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証致しません。

# 保 証 書

**●弊社の保証規定を必ずご覧下さい●**

| | |
|---|---|
| 保証期間<br>Warranty | 西暦　　　　　年　　　月　　　日　より　**1**年間 |
| 製品名<br>Product name | 11Mbps **無線**LAN PC**カード** |
| 型番<br>Product No. | **GW-NS11H** |
| 製造番号<br>Serial No. | |

| | |
|---|---|
| フリガナ | |
| 会社名 | |
| 部署名 | |
| フリガナ | |
| お名前 | |
| フリガナ | |
| ご住所 | □□□－□□□□<br>都道<br>府県 |
| TEL | |
| FAX | |
| メールアドレス | |

| | |
|---|---|
| ご購入代理店名<br>所在地 | |

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

プラネックスコミュニケーションズ株式会社